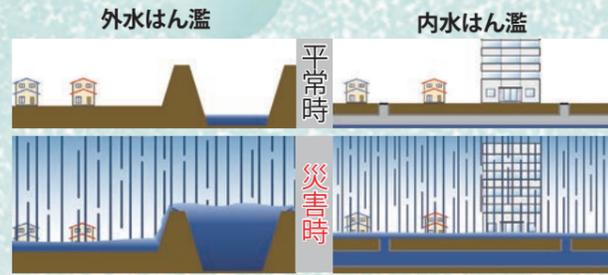


## 大雨にも注意が必要です!!

### 気象情報に注意しましょう

台風だけではなく、線状降水帯の発生などの集中豪雨により、川の水が堤防からあふれる外水はん濫や、市街地でも、川などに排水できずにあふれる内水はん濫が起きることがあります。



#### ▶ 1時間の雨量と想定される被害

1時間の雨量	予報用語	想定される被害
10mm以上～20mm未満	やや強い雨	水たまりができる。長く続く時は河川増水など注意が必要
20mm以上～30mm未満	強い雨	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが起きやすい
30mm以上～50mm未満	激しい雨	山崩れや崖崩れが起きやすい
50mm以上～80mm未満	非常に激しい雨	マンホールから水が噴出・土砂流が起きやすい
80mm以上～	猛烈な雨	大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な注意が必要

### 防災気象情報と避難行動

いつ起きるかわからない災害に備え、災害時の行動をまとめておくと安心です。

	大雨前の備え	避難前に確認すること	避難時に注意すること	
どんな時?	<b>警戒レベル1</b> 1日前/早期注意情報	<b>警戒レベル2</b> 大雨注意報	<b>警戒レベル3</b> 2時間前程度/大雨警報	
	数日後に警報級となる気象予測を「高」「中」の2段階で発表。	6時間以上あとに警報に切り替える可能性が高い注意報を発表。	3～6時間後に警報級の雨が降る可能性を発表。直前の発表になることも。	
	市の対応例	対策の準備	避難所準備	高齢者の避難指示 必要に応じ避難所開設
		レベル1・2では、それぞれの災害に合わせ移動手段を事前確認。 避難するタイミングや避難先をどこにするか。 避難・在宅避難の準備として、ラジオや懐中電灯など防災グッズや避難時の持ち物を確認。	避難指示 避難所開設	避難指示 避難所開設
	何をすればいい?			緊急安全確保
			避難できなかった人は、少しでも安全な場所に避難。 命を守る最善の行動 自宅での垂直避難や水平避難で安全確保できなければ、ただちに避難。	

### 日頃の備えが大事です

お住まいや、今いる場所でのどのような災害が起きうるのか。日頃から備えておくことで被害を最小限に抑えることができます。  
備えについては、一時的な避難(数時間)、避難所一時滞在(2～3日)、在宅での避難(1週間)の考えやローリングストックなどの備蓄方法を検討しましょう。

右の二次元コードから災害時の情報を取得できます。市のホームページ、市公式LINEも上手に活用して安全の備えを!!



#### 防災フェア2025開催!

防災講演 防災の知識や気象情報の活用を学ぼう!	炊き出し(無料試食会) 食べてみよう! 防災炊き出し	日時 5月18日(日) 正午～午後3時半 場所 てだこホール周辺
防災機材展示 防災グッズや機材を展示!	足湯 災害時に活用している入浴セットで足湯を体験!	

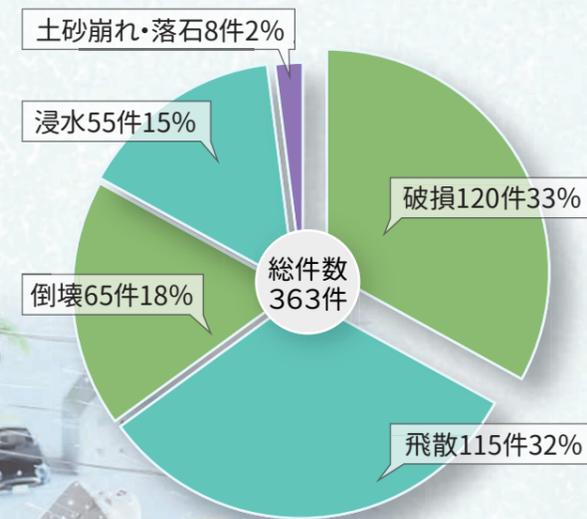


# 風水害対策の心得と備え

沖縄では毎年のように台風による被害が発生し、近年では大雨による被害も出ています。  
ここ最近で本市に起きた大きな災害といえば、令和5年に沖縄を襲った台風6号が挙げられます。この台風は8月1日午前4時25分に暴風警報が発表され、翌日からは大雨警報等により、7日の午前10時12分に大雨警報が大雨注意報に変わるまで雨風が猛威を振るいました。  
改めて風水害とは何か、災害発生前の行動や発生時にどうすべきか考えてみましょう。

### 令和5年 台風6号の被害報告より

#### 市災害対策本部への報告件数



- **破損** (例) 窓ガラス・フェンスなど  
本市に通報・報告された被害の中で最も多かったのが建物などの破損です。強風で屋根の一部が飛ばされたり、強風で飛ばされた物により破損したりなどの被害がありました。
- **飛散** (例) トタン、看板など  
飛散とは、強風で飛ばされた物のことをいいます。破損や倒壊から飛散物生まれ、その飛散物も破損を生み、被害が拡大するおそれがあります。
- **倒壊** (例) 木など  
倒壊は木が多くを占めており、庭木などにも注意しなければいけません。  
**対策▶ 事前に物を固定する・補強するなど**  
その他の情報として、停電戸数は最大で9,800戸、県内の34%が停電しました。